

## ゆとりと魅力ある居住環境の創出モデル事業に係るモデル地区の選定について

住 宅 課

### 1 要旨

広島型の「適散・適集」なまちづくりの実現に向けて、地域の特性を生かしたゆとりと魅力ある居住環境の創出を図るため、県ではモデル地区を選定し、目指すべき居住環境の将来ビジョンの策定等を行う市町を支援することとしている。

このたび、モデル地区を公募したところ、東広島市より1地区の応募があり、内容を審査したところ適切であったため、モデル地区として選定した。

### 2 市町からの応募結果

- (1) 募集期間 令和3年4月12日（月）から4月23日（金）まで
- (2) 応募市町 東広島市（1地区）

### 3 選定したモデル地区の概要（詳細は次ページ）

項 目	内 容
モデル地区名	東広島市鏡山、西条町下見（広島大学周辺エリア）
事業目的	持続可能な地方都市として、「適散・適集社会」の新たな都市モデルの構築により、最先端の技術を取り入れながら、イノベーションを創出し、世界から起業家や研究者が集まるまちづくりを実現する。
取組内容（予定）	ニーズ調査、目指すべき将来ビジョン等の策定

### 4 今後の予定

県・東広島市・広島大学で連携し、目指すべき将来ビジョン策定及びその実現に取り組む。

- (1) 令和3年5月19日に応募市に選定結果を通知・公表
- (2) 県・東広島市・広島大学（Town & Gown Office）で実施に係る確認書等を締結
- (3) 県・東広島市・広島大学による検討体制を構築し、ニーズ調査・目指すべき将来ビジョン等の検討に着手
- (4) 令和4年3月までに将来ビジョンを策定

#### 【(参考) ゆとりと魅力ある居住環境の創出モデル事業の概要】

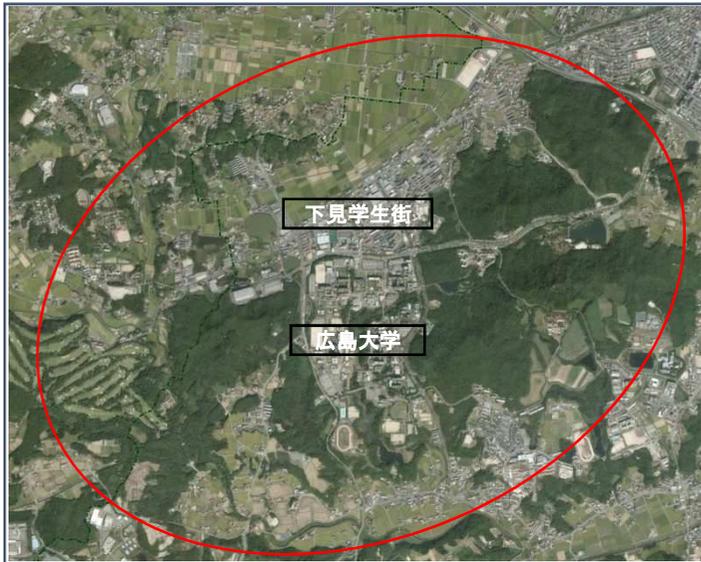
1 事業の内容	公募により選定したモデル地区において、県と市町等が連携して、目指すべき居住環境の将来ビジョンの策定及びその実現に向けた取組を実施する。 県は、取組に要する経費の支援、広域的な視点からの助言や自治体間の連携推進等を行う。
2 モデル地区の選定	市町からの応募を基に、1地区選定する。 (令和4年度には、さらに2地区選定することを想定)
3 選定基準	次に該当する取組であること及びモデル事業としての波及効果が高いことを基準として選定する。
(1) 対象地区	当該地区において、地域特性を生かした居住環境を創出することで、多様な人々を惹きつけることが見込まれる一定のまとまった地区であること。
(2) 取組内容	ア 市町、関係団体等の多様な主体が連携し、目指すべき居住環境の将来ビジョンの策定とその実現に取り組むものであること。 イ 多様な人々が住みたいと思える居住環境が創出され、当該地区への居住誘導が見込まれる取組であること。

# 東広島市鏡山、西条町下見（広島大学周辺エリア）

東広島市提出資料

取組内容概要書

欧米の大学立地を成長につなげている成功事例を参考とした、タウン(街)とガウン(学生・教授)たちが一体となったまちづくり、持続可能な地方都市として、「適散・適集社会」の新たな都市モデルの構築により、最先端の技術を取り入れながら、イノベーションを創出し、世界から起業家や研究者が集まるまちづくりを実現させる。



## ■ 計画等における位置付け

第五次東広島市総合計画(地域別計画)において、「新たなテクノロジーによる次代の創造と学術・研究・国際化を先導するまち」を将来像に掲げる。

## ■ 地域特性・資源

- ・広島大学や広島中央サイエンスパークを始めとした知の集積地
- ・人口増加地域
- ・陸路・空路におけるアクセスの良さ

## ■ 地区の現況・課題

- ・大学生の定着が低調(人材の域外流出)
- ・外国からの高度人材等の住環境整備
- ・産学連携拠点の確保

## ■ 目指すべき居住環境

大学と都市がセットで選ばれるための基盤を形成することで、豊かな暮らしをするために必要な都市機能とゆとりと魅力ある居住環境を創出する。



ゆとりと魅力ある都市空間 ビジネス創出拠点

次世代交通



居住機能(ハイクラス層) インターナショナルスクール

デジタル基盤

## ■ 実現に向けた取組予定

- ・ニーズ調査、目指すべき将来ビジョン・グランドビジョンの策定
- ・将来ビジョンの実現に向けたハード面における調整(令和4年度以降)
- ・エリアマネジメント運営などソフト面における調整(令和5年度以降)

## ■ 連携する関係団体

Town & Gown Office (広島大学)

## ■ スケジュール

